

独り言

2012年

江見千秋



CHIAKIの独り言ブログ

この冊子は、
「CHIAKIの独り言」ブログに
投稿した内容を冊子に編集したもの
です。

表紙の「独り言」の書は
以前、「書道村」を主宰されていた
川戸翠紫先生に書いていただきました。
た。

年賀

2012-01-01 — 独り言



あけましてお
めでとうござい
ます！

本年もご愛顧
のほどよろしく
お願いいたしま
す。

なお、本年よりこのブログのタイトル名を
CHIAKIの独り言に改名し、
別サイトのブログで呟いていた
「CHIAKIの独り言」を、

このブログに集約しました。
今までに増してご愛顧いただきたくお願い
申し上げます。

正月三が日

2012-01-03 一 独り言

2012年の正月三が日も例年通り平穏に過ぎようとしています。

元日には多少の雲が懸かりましたが、雲間からの**初日の出**はやはり新年を迎えて無く

ならない自然の恵みで

す・・・

初日の出を迎えたあと、例年のように**初詣**で皆んなの**健康と安全・安心**を祈念しました。



2日には、子ども達家族も交え 賑やかに **お雑煮**と **おせち**で新しい年を祝いました・・・
何時までも、皆んな健康であります！



3日には、わが町を通り過ぎる**箱根駅伝**を観戦しました。



昨年は、東日本大震災など自然の猛威を受け、人間の力ではどうしようもないような被害を受けましたが、幸いなことに我が家では何とか例年と同じような新年を迎えることができたことに感謝している正月三日です。

被害を受けられた地方の方々が 一日も早く復興されることを願うとともに、我々人間も自然の中の一員として 自然と仲良く過ごせる新しい一年になりたいものです。

本年もよろしく願います！

パソコンでお絵描き

2012-01-07 作品



久しぶりに、パソコンで **お絵描き**をしました・・・

この絵は、通常 書類などを作成する Office アプリケーションを使って描いたものです。

Office アプリケーションに、図形を書き込む機能がありそれを利用したものです。

この**お絵描き**の方法は、2年ほど前に知り時々描いているのですが、

描こうとするものを、Office アプリケーションの持つ図形を利用して描くため、最適な図形を探すことが、頭の体操になり楽しめます。

今までに書いたものを 下記サイトに入れておりますので、ご覧いただき、コメントいただければ幸いです。

<https://picasaweb.google.com/112018506105790339761/gBnUCB#>

梅一輪



なかった。

2012-02-16 — 自然の技

2月12日、徳富蘇峰記念館（蘇蜂堂）の梅園で**お茶の会**が催された。

例年であれば、会場は**梅**が満開でいい匂いが漂っている筈であったが、当日は数輪しか咲いてい

この催しも、1月14日から始まった**菜の花
ウォッチング**という催しの中の一つのイベントとして予定されていたので、**梅**の満開を待たず行われたのである。

開花が遅れたといっても日数にして数%だ
と思うが、我々は一度決めた予定を、自然に
合わせて変えるのはなかなか難しいよう
だ・・・だから、仕方なく花の無い梅園での
お茶の会になってしまったのだろう。

梅だけでなく自然の植物、人間（我々だけ
かな）以外の動物は、もう少し周りの気候を
感じながら、その変化に馴染んで生活してい
る用に見える。

我々も、自分の作った予定に縛られること
なく、**自然の中に溶け込んで楽しい生活を送**
りたいものです。

吊るし雛



2012-02-17 一 独り言

昨年に続き今年も、町内
の神社・お寺で**雛の吊るし
飾り展**が催され見にいきま
した。

丹精込められて作られた
沢山の**雛**が綺麗に天井から
吊り下げられており、見ごたえのある催しで
した。

会場に置かれていた「代表的なつるしパー
ツの由来について」の説明を見て、飾られて
いた作品それぞれに由来や縁起の習わしのあ

ることを知り、一段と興味深く観賞することができた。

例えば・・・

「猿」は、猿（さる）↓去る「難が去る・病が去る」の意。

「犬」は、一度に多くの子供が生まれる。安産を願う意。

「枕」は、「寝る子は育つ」との言い伝えから。 などなど

子どもの成長、家内安全などを願う由来や縁起があるとのこと・・・

作る人々が、一針一針に願いを込めて作られたことを思うと、今では忘れかけているような人の優しい・安心・繁栄を願う心を改めて思い起こす機会になりました。

記憶は器械に！？

2012-02-18 一人言



最近、スマートフォン（多機能携帯電話）とかタブレット（板のようなパソコン）という携帯に便利な装置が話題を呼んでいる。

一方、インターネットを利用して、いろいろな情報のやり取りができるようになっている。

これらを組み合わせ、データを何処でも・何時でも利用できるようになった。

写真の例は、あるデータファイル（パソコンなどで作った文章など）を Dropbox という

アイコン（絵で表示したマーク）に落とし込んでおくと、パソコンだけでなく、身に付けているスマートホンやカバンの中に入れて持ち運んでいるタブレットで、何処でも・何時でも見る・書き換えることができるのである。

自分の脳に記憶していなくても、Dropboxに情報を落とし込んでおけば、必要な時に即座に呼び出せるのである。

もう、暗記という頭の痛い行動は必要なくなってくる時代になって来たようだ・・・

使ってみると非常に便利であるが、なんだか自分の脳味噌は劣化の道を転げ落ちているようである。

例えば、漢字が書けなくなっている・・・

あま、記憶は品物の在庫に相当するもので、

それらを利用しなければ宝の持ち腐れになってしまうと考えるので、記憶は器械に任せ、その記憶された素材を使って新しい価値あるものを創り出したいと思う次第です！

子ども科学教室

2012-02-19 — ボランティア

生涯学習ボランティア活動の一つとして、子ども科学教室に参加しました。

今回は、対象として小学校高学年に、実験をしながら「大気圧」を理解させることがテーマでした。

実験内容は・・・

- ・ ロースクポンプ
- ・ 2本のストローで水が飲めるか？
- ・ 逆さにしたコップの水を持ち上げる
- ・ クシヤクシヤ アルミ缶

(写真は、その瞬間です。)

- ・ 大気圧と力くらべ

(マゲデブルグの半球)

などなど



どの実験に対しても、説明を熱心に聞き、実験の結果についての質問にも自分の考えを考え考え説明していました。理解しているながらも、どう説明していいか考え込んでいる子もいま

した。

現象を理解している筈の自分も、子ども達へどう説明していいか戸惑うこともありました。

子ども達は、実験とその結果の説明の難しさも感じ取ってくれたものと思います。

自分にとっても勉強になった一時でした・・・

同時に、無理な願いですが、再度子どもになりたいナ～！とも思いました。

日

日替わりメニューの

スケジュール

2012-02-20 一独り言



写真は、自分のスケジュールを表示したスマートフォンで、日付の右下に三角マークのついで

ているところに、何か要件が入っているのです。

サラリーマンをリタイアし、いくつかのボランティア活動を行っていると、スケジュール表には同じマークがついていても、要件はバラバラなのです。

ある日はパソコンの講習会、ある日は子ども相手の昔あそび、また別の委員会の会議等々、内容は日によって異なるのです。

また、サラリーマン時代と違って、スケジュールのほとんどは自分が設定するようになるのです。

自分の作った穴ではあるが、なんだかもぐら叩きに要件を一つつつ消化している感じです。

とは言いながら、このような日替わりメニュー的なスケジュールだから、後期高齢者になっても飽きないで消化できているのかも分かりません。

まあ、気力・体力が続く限り、このようなスケジュールを楽しく消化していきたいものです。

子ども達の素直な考え

2012-02-22 ー 独り言



先日、ボランティアとして
小学校のパソコンクラブの手
伝いに行きました・・・

当日のテーマは、「1年間、
お世話になった人への礼状」
作りでした。

そこで、パソコン操作とは別に、子どもの
「お世話になった人」の考え方を垣間見るこ
とができました・・・十数人のクラブ員全部
を一人ひとり確認したわけではないが・・・
多かったのは「お母さん」・・・当然か
な！・・・「お父さん」は一人・・・（ー）

「〇〇先生」宛のがあったので、「担任の
先生か？」と聞くと、意外なことに「塾の先
生」宛というの子が数人あった・・・「学校
の先生」宛は見かけられなかった・・・

これが今の子ども達の感じ方かな！？と、
と、ちよつと考えさせられたが、考えてみ
ると、子ども達にとって「学校の先生」は、
日頃教えてくれるのが当然のように感じてい
て、特にお世話になっていると感じていない
のかもしれない・・・

60数歳の差があると、感じ方が違うのは
当然かもしれない・・・

パソコンのお手伝いよりも、「お世話にな
った人が誰か？」を教えるのではなく、子ど
も達一人ひとりが感じた人を選び出すことの
良さを感じ取った一時でした。

広告記事

2012-02-24 一 独り言

毎日、インターネット上の
BLOGを使って簡単な日記を
書いています・・・

写真も取り込めるので便

利に使っているのですが、最
近**広告記事**や参考にと**関連記事**の掲載が多
くなり困っています。(ーー)二

というのは、毎日の書き込みはBLOGですが、
サイトの許容量の関係もあるので、2、3
ヶ月に1回くらいの頻度で、保存のためWord
アプリケーションにコピーしているのです。
以前は、**広告記事**や**関連記事**の掲載が少なく、

BLOGの過去の記事を表示して、それをコピー
すればよかったのが、最近は纏めてコピーす
ると、余分なものが沢山入ってくるので
す・・・無料で使っているBLOGなので、必要
なところだけをコピーするといった手間を余
儀なくされているのです。

広告記事は、BLOGなどインターネットで表
示される画面だけでなく、新聞などにもペー
ジの全面広告が多くなっているようです。
まあ、この方は適当に捲っておけばよいので
すが、用紙やかさ張るための運搬の費用が無
駄ではないかと思うのですが・・・まあ、情
報化時代ということで仕方ないのかな～
く！(@_@)；



パソコン講習会

2012-02-26 パソコン



先日、パソコン講習会の一つとし「パワーポイント入門編」を行い、来週には「パワーポイント初級編」の講習会を予定しています。

今までに何回か同じ内容や他のテーマの講習会の講師をやっておりますが、回を重ねるごとに、教えることの難しさを感じております。

パソコンの操作は、一つの作品を作るにも、手間は掛かるが**基本的な手順**で行うことも当然できるが、一方**効率的な便利な方法**もいろ

いろあるため、参加する方に対しどの方法を説明すればよいか何時も悩むのです。

また、使用するパソコンの新旧によっても違ふし、講習会に参加する方々によつて何に使うかもいろいろあり、なかなか的が絞れないことも悩みの種です。

自分が日頃使っていないようなことにも触れざるを得ないので、自分も予習が大変です・・・

悩んでいても仕方ないので、自分が受講する立場になって、何が知りたいかを考えながら説明しているのが現状です。

もう一点、聞く方々が「パソコンを好きになつていただく!」、逆に言えば「パソコンを嫌いにしない!」ことを最重点にしております。(〆〆)

雪

2012-02-29 — 自然の技



久しぶりに、
湘南にのみや
にも雪が積も
った・・・
積もったと
いっても、時に
はみぞれ交じ
りの雪だった
ので、**雪だるま**
を作るような

状況ではなかった。

今年は、全国的に例年になく**豪雪**で、雪国の方々は苦勞されているとのニュースが連日報じられている。

苦勞されている雪国の方々には申し訳ないが、一面真っ白になった光景は好きです・・・

子どもの頃、年数回ではあるが、朝起きると一面真っ白な道、

それもまだ誰の足跡もない道を、真っ先に走り回ったことを懐かしく思い出す・・・

学校に行けば、**雪だるま**作り、**雪合戦**・・・

などが楽しい思い出になっています。
夜、風呂に入れば、窓越しに母に雪を採ってもらった・・・

これも思い出の一つです。

このような思い出が、雪の光景が好きな理由

のです。

雪の中、寒そうに登校している子ども達を見ると、

もつと雪を楽しめ！・・・と、声を掛けたくなった・・・

こんなことを言って、

苦労されている雪国の方々には申し訳ありません（「」）



ボランティア講座

2012-03-11 ― ボランティア

町の生涯学習課主催の「知って得する！人生が輝く『生涯学習ボランティア』丸分かり講座」に参加しました。



この講座の趣旨は、自分の時間を持つことができるようになった方を対象に「生涯学習ボランティア」とは何か？」「どんなことができるか？」を知っていただくものでした。

自分も10年くらい前から「生涯学習ボランティア」活動などに参加しているが、講師が東京都のある区で幅広く「生涯学習ボラン

ティア」活動をされている方であり、「ボランティア」とは何かを改めて考えてみるのに役立つ内容でした。

講師の話の間にも「生涯学習って何？」といった設問に、参加者が数名のグループに分かれ意見を出し合い、その結果を発表するといった内容もあり、他の人の考えを聞きながら自分の考えと比較できることができました。

ボランティア活動が目指すものといったテーマについて・・・

- ・ 良心の契約
- ・ おもいやりの心をもって
- ・ おすそわけの心で
- ・ 相手の気持ちを感じ取る心を
- ・ 心のふれあいをおして

などなど

といった説明もあり、日頃自分の思っていることを改めて確認することもできた一時でした。

「生涯学習って何？」という問いの中に「交流のための学習」といった内容もあり、これからできる限り、「人と人との交流の中で、自分も学ぶ！」ことを大事にしたいものです。



喜寿

2012-04-22 一人言

常日頃、自分では喜寿という歳は想像にもしていなかったが、その齢を迎え、先日友人たちに予想もなかったお祝いの会をしていただいた・・・

子どものころは、70歳というと相当な老人で 寒い時は炬燵に入り、暖かい日は縁側で日向ぼっこをしている好々爺的な感じを持っていた。

自分がその齢になってみると、「なんだ！その歳になってもまだ若いんだ～～～！」という感じです。

2年前に後期高齢者という身分になっているが、なんだかこの称号？は似つかわしくないように思う。せめて高齢者くらいにしておいてほしい・・・



まあ愚痴は横に置いておいて、喜寿という機会は1度しかないので、自分でも「よくこれまできたもんだ〜〜〜！」と考え、「喜」という字を友人の書道の先生に書いていただき、久しぶりにそれを木象嵌のモチーフにしてコースターを作っています。

2、3年このような木工細工をお休みしていたためか？あるいは喜寿という齢になったためか？以前のように作業は進まないが、この作品をお祝いしていただいた方々に自分の喜寿の記念に差し上げたいと頑張っております。

金星の太陽面通過

2012-06-06 — 自然の技

6月6日の金星の太陽面通過の現象が予告されており、期待していたが関東地方の天気予報が曇り時々雨であったので、金星が太陽面に入る瞬間をテレビで見っていたが、ひよつと外を見ると時折太陽が雲間から覗いていたので、慌ててカメラを太陽に向けました。

幸いに、雲も少なくなりその合間を待ち受けながら肉眼で観察できました・・・

同時にカット数は少ないが、カメラに収めるもできませんでした・・・（0_0）



9
時
4
分



1
0
時
5
5
分



1
2時
3分



1
2時
5
9分

この現象が次に見られるのは105年後と
のこと・・・

再会をしたいと思うが、まず無理な
ようで・・・

今回の太陽の顔を移動するホク
ロを特と観察しました (010)

夏から秋への移ろい

2012-08-04 — 独り言

あまりの暑さに 眩くのも途絶えていまし
た・・・

まだ日中は暑いが、立秋も近くなり朝雨戸
を開けると風が吹き込み、出窓に吊るした風
鈴の気持ちよい音を耳にするようになりまし
た・・・

日課にし
ていた早朝
庭先で読む
新聞も、風に
煽られ、ペー
ジが折り難
い・・・

秋を感じ
る頃になり
ました！
(010)



そういえば、庭のミニトマトも、残すは一番上の段になりました

朝の食卓を楽しませてくれるのもこれが最後のようです・・・

終戦の日

2012-08-15 — 独り言

今日（2012年8月15日）は、太平洋戦争終戦から67年目である。

終戦の日（1945年8月15日）は、僕が国民学校4年生の時であった。

その頃の細かいことはほとんど覚えていないが・・・

8月15日は正午から何か重大な放送があるとのことで、昼前に泳ぎに行っていた川から帰宅し、縁側に座って中にある箆笥の上のラジオを家族で聞いた。

その時は、余り内容は解らなかったが、「戦争に負けたんだ！」ということは何んとなく分かった。

夏休み中のことでもあり、すぐにどんなことをしたかは覚えていない。

夏休み中に学校に行ったのか、新学期が始まってからか明確ではないが、学校で教科書に墨ぬりをしたことを覚えている。

教科書と言っても、その頃は紙不足のため新

聞紙のような大きな紙にページが並んで印刷されており、それを線に沿って切りA4版に折り畳んだものであった。

墨ぬりをすると、ほとんど黒くなったような気がする。

手元に現物がないのが残念である！

もう一つ覚えているのが、毎朝朝礼の時最敬礼していた**奉安殿**に向かわなくなったことである。

家で変わったことは・・・

空襲的にならないように、夜の電燈は**燈火管制**として黒い覆いを被せていたのをしなくなったことである。

白熱電灯ながら、ランプの真下だけでなく、部屋全体が明るくできるようになったのである。

る。

食糧不足で、カボチャの茎や芋の蔓の入ったスイトンを口にする生活は暫らく続くが、とにかく、終戦の日を境に、取り巻く環境が変わったのである！

夏から冬への移ろい

2012-11-19 — 独り言

眩くのをサボっていたいたからか？季節の移ろいが速いのか？・・・つい、先日まで「**熱中症**」の話題がTV新聞を賑わせてたと思っていたら、もう「**初雪だ！**」「**氷点下**



だ！」といったニュースを聞く頃になってしまった・・・

どうも今年は「秋」を味わう機会が少なかったようだ！？

自然界の時間経過からすれば誤差範囲の変

化かもしれないが、平均寿命80歳弱の

我々にとっては特異

現象として感じられ

る・・・

我々人間は、自然の

雄大さを知りながら

も日々の生活は「時間

刻み」いや「分刻み」

の感覚で生活してい

る・・・

「井戸の中の蛙」という諺があるが、それ以下の「毛穴の中のバイキン」のようにチツチヤナちつちやな世界で蠢いているように感じる・・・

時には、せめて穴から首を出し、自然の雄大さに頭を晒し、暑さ寒さも「自然はこんなものか!？」と言える気分になりたいものである！
(2010)



メモ

2012-11-22 一人言



だんだん脳味噌の細胞の記憶効率が悪くなると、外部記憶が必要になってきます。

その方法が、手帳やスマー

トホンにメモを取ることです。

一番便利なのは、ウン十年前からやっている手帳に書くことです。

しかし、書くには便利だが、だんだん漢字がすぐ思い出せなく、また殴り書きになって、後でなんと書いてあるのかわからなくて訳すのに困ることが多々あります。

最近流行っているスマートフォンは、暗闇で

でも入力でき便利だが、手帳に書くよりチョット時間がかかる・・・

スケジュールなどを参照するにも、手帳をパツと捲るようにはいかない・・・

それぞれ長所・短所があるので、もっぱら、それぞれの長所を利用するようにしています。パツと書き、サツと見るのは「手帳」を、寝ていてふと思い出したことのメモには、暗がりでも使える「スマートフォン」に・・・

皆さん、メモ・覚書は何にとどめていますか？

それとも、皆さんはまだ外部記憶は必要ないかな~~~~!?

現代隠居の井戸端会議!?

2012-11-30 ひとり言



現役を引退し、多少時間を
持て余している者・・・

昔であれば「ご隠居」と言
ったような歳になっても、最
近はまだまだ元氣を持て余し、
過多ともいえる世の中の情報
の渦に翻弄されているのが実情です・・・

自分も、さまざまな情報の中を漂いながら
も、その波に飲み込まれないよう、懸命に泳
いでいる今日この頃です・・・

ただ泳いでいるだけでは、そのうちに力尽

き溺れてしまいそうなので、何かにしがみ付
き一休みしたい・・・それができるのが「現
代隠居の井戸端会議!？」のようです。

「現代隠居の井戸端会議!？」・・・今で
は井戸も珍しくなり、井戸端会議の主役は主
婦の出番のようですが、現代のご隠居さんも
その雰囲気味わいたいと願っているのだ
す・・・

・ 参加しているボランティアグループの有
志が集まり「ワイワイガヤガヤ・・・」と

特にテーマを決めず駄弁すること・・・

・ 同期会などで、チョット飲みながら、近
況の話題を交換すること・・・

・ いろんな催し会場でいろんな人と立ち話
をすること・・・などなど!

とにかく、情報の波に漂いながらも、時には浮かんでいる浮遊物の掴って、「おーい！大丈夫か！？」と自分の近況・思いをしゃべることが単調な日常を楽しくしてくれる潤滑油になります。

これからも、機会あるごとに「現代隠居の井戸端会議！？」に参加したいものです！

このBLOGを眺めていただいた方々にも、ぜひコメントを寄せていただきたくお願いする次第です。



一瞬、一日、百年。

2012-12-23 一独り言



あるウイスキーの広告に
「一瞬、一日、百年。」という
フレーズを目にしました。

このフレーズを見て先ず思
い浮かんだのは、昨年の東日本
大震災のことであり自然の営みです・・・

地震の揺れは一瞬・・・
津波の怒涛は一日・・・
被害の復興は百年・・・

日々の生活でも当てはまることが多々あります・・・

これを書いているのは一瞬・・・

これを見ていただけるかなと思うのは

一日・・・

書いたことが残るのは百年・・・

とにかく、自然の営みも我々の生活も、「一瞬、一日、百年。」という時間感覚を持つことが大切なようです・・・

したがって、一瞬を大事に扱い、一日を楽しく、百年に良き思い出を残したいものです！

齢

2012-12-28 ひとり言



年の暮れを迎え、今年感じることの一つは**喜寿**を迎えたことです・・・

喜寿迎えそんなに来たかと指を折るゝ

とにかく「もうそんな**齢**になったのかゝゝ」というのが先ずの感想です。

子どもの頃は、70歳と言えば、縁側に座り日向ぼっこをしているか、休み休み畑仕事をしているおじいさんのように思っていました。

ここ数十年の間に、平均寿命が格段に高くなり、70歳となっても自分ではまだ若いと思っていたのです・・・

古希を迎えた時も「もうそんな**齢**か〜」と思ったが、その後、**齢**のことはあまり気にしていなかったようです・・・

歳をとることは、余命が少なくなるのでチョット残念な気もしますが、逆に考えてみれば、今までそれだけ楽しい時間を過ごしてきたのだと思うと満更でもない気がします。

間もなく新しい年を迎え（新しい年を迎えなくてもかな!?）、**齢**を加えることになりませんが、新たな楽しみが待っていることだろうと思います、お正月を迎えたいと思います。

まあ、その前提になるのは健康だと思うの

で、まずは歳相応の健康を保ちたいと思います。

上に載せました写真は、喜寿のお祝いに書道の先生に書いていただいた「喜」の字をモチーフにした「坊や」のイラストを自分で作ったコースターに描いたものです。

何時までも、気持ちはこの坊やの様でありたいと思っております！



大晦日 忙中閑あり！

2012-12-31 — 独り言



暮れの28日に正月飾りも
終わり、30日に搗いたお餅
を床の間に飾ると、大晦日は
チョット「忙中閑あり！」の
気分です。

まだまだ埃が積もったところや、日頃使っている机の上などが雑然としているが、余り気にしなければ、1年の最後の日にこんな気分になるのも悪くはない・・・

元日は、時の流れからすればなんら変わらない一時ではあるが、やはり人生一つのマイルストーンと思います。

大晦日に「忙中閑あり！」を感じるのも、元日をマイルストーンと思っているからではないでしょうか！？

このマイルストーンを通過するに際し、日頃味わえないこの気分を大いに楽しみたいと思っています。

では何をするかな？~~~~

雑然とした・・・自分では必要なものがすぐ手の届くところにあると思っている・・・身の回りはそのままにして、「忙中閑あり！」の気分の間に、パソコンの中に1年間溜まっている写真などの整理をしてみようと思っています。

1年を振り返るには良い案とは思いますが、何処まで整理できるかな？~~~~

皆さん

よい年をお迎えください！

